

# 令和3年度 事業報告

## 社会福祉法人富士旭出学園

令和3年度は、新型コロナの新たな変異株により、行事の中止や縮小、面会や外出の自粛など、感染拡大防止に注力してきた。幸い利用者の感染はなかったが、長い自粛生活の中で感染予防を優先することによる様々な課題が表面化し、試行錯誤を繰り返しながら対応した1年であった。

また、社会福祉充実計画である富士清心園創設工事に先立ち、法人本部事務所新築工事が着工した。この事業は、次年度の法人50周年記念事業でもあり、当初は3月末竣工予定であったが、諸般の事情により完成が令和4年8月末に延期となった。

昨今の社会情勢の変動は法人経営にもその影響は大きく、新型コロナの感染予防と事業継続の両立が求められている中、富士旭出学園の法人としての使命、役割を着実に果たしていきたい。

### <法人運営>

#### 1. 理事会開催状況

##### (1) 第1回 令和3年6月2日(水)

- ① 令和2年度事業報告及び附属明細書(案)の承認
- ② 令和2年度計算書類及び附属明細書、財産目録(案)の承認
- ③ 評議員選任・解任委員会の委員選任及び招集(案)について
- ④ 評議員候補者について
- ⑤ 役員候補者について
- ⑥ 定時評議員会の招集(案)について
- ⑦ 役員等の報酬等並びに費用弁償に関する規程の変更(案)について
- ⑧ 定款の変更(案)について
- ⑨ 社会福祉充実計画の変更(案)について

報告事項 ・理事長職務の執行状況報告  
・理事長専決事項

##### (2) 第2回 令和3年6月18日(金)

- ① 理事長の選定
- ② 評議員選任・解任委員の選任について

##### (3) 第3回 決議の省略 (決議があったとみなされた日 令和3年7月16日)

- ① 社会福祉充実計画の変更の再申請について
- ② 評議員会の招集(案)について

##### (4) 第4回 令和3年11月18日(木)

- ① 令和3年度第一次補正予算(案)の承認
- ② 法人本部事務所新築工事について
- ③ 富士清心園創設工事の進捗状況について
- ④ 施設長人事(案)について

報告事項 ・感染症対策について  
・理事長職務の執行状況報告  
・理事長専決事項

(5) 第5回 決議の省略 (決議があったとみなされた日 令和4年1月4日)

- ① 法人本部事務所新築工事 設計内容の見直しについて
- ② 経理規程の変更(案)について

(6) 第6回 決議の省略 (決議があったとみなされた日 令和4年3月6日)

- ① 第3回評議員会の招集(案)について

(7) 第7回 令和4年3月25日(木)

- ① 令和3年度第二次補正予算(案)の承認
- ② 令和4年度事業計画(案)の承認
- ③ 令和4年度当初予算(案)の承認
- ④ 理事の退任及び理事候補者の選定
- ⑤ 諸規程の変更(案)の承認

## 2. 評議員会開催状況

(1) 定時評議員会 令和3年6月18日(金)

報告事項 ・評議員選任・解任委員会の決議報告  
・令和2年度事業報告及び附属明細書  
・令和3年度事業計画及び当初予算

- ① 令和2年度計算書類及び財産目録(案)の承認
- ② 役員の選任
- ③ 役員等の報酬等並びに費用弁償に関する規程の変更(案)
- ④ 定款の変更(案)
- ⑤ 社会福祉充実計画の変更(案)の承認

(2) 第2回 決議の省略 (決議があったとみなされた日 令和3年7月26日)

- ① 社会福祉充実計画の変更の再申請について

(3) 第3回 令和4年3月25日(金)

- ① 理事の退任及び理事の選任

## 3. その他委員会開催状況

(1) 評議員選任・解任委員会 令和3年6月18日(金)

(2) 法人本部事務所新築工事入札指名委員会 令和3年11月18日(木)

#### 4. 登記事項

令和3年6月29日	代表理事の重任登記
令和3年6月29日	資産の総額登記

#### 5. 届出事項

令和3年5月10日	障害者雇用納付金申告書（調整金受給）	（独）高齢・障害・求職者支援機構
令和3年6月30日	法人税申告書（納付なし）	富士税務署・静岡県沼津財務事務所
令和4年3月31日	時間外労働休日労働に関する協定届 就業規則、その他関係規程の変更届	富士労働基準監督署

#### 6. 指導監査等の状況

実施なし

#### 7. 監事監査の実施状況等

令和3年4月27日	監事監査研修会（オンライン研修）
令和3年5月21日	決算監査
令和3年11月18日	定期監査

#### <事業活動>

##### 1. 利用者の立場に立った良質で安全・安心なサービスの提供

##### (1) 新型コロナウイルス等感染症対策と必要なサービスを継続するための取組み

###### ① 感染予防対策

利用者・職員へのワクチン接種（協力医療機関 フジヤマ病院）

・新型コロナワクチン 1回目・2回目 令和3年6月～9月  
3回目 令和4年2月～3月

・インフルエンザワクチン 令和3年10月

###### ② 外出や面会制限を設ける中、家族とのオンライン面会等を実施

静岡県緊急事態宣言の状況にて令和3年10月20日～令和4年1月13日面会等制限緩和

###### ③ 感染拡大防止措置

給食業務職員（1名）コロナ感染により富士厚生園・富士明成園の給食業務停止

令和4年2月1日～2月7日 災害時応援協定業者への食事外注 (株)大富士

令和4年2月3日 富士厚生園・富士明成園厨房内消毒 (株)フジ環境サービス

##### (2) 土砂災害への対応

① 富士宮市防災マップを基に大雨による避難情報警戒レベル3を想定した避難誘導(垂直避難)

② タブレット端末を利用した各施設との情報伝達訓練

③ 土砂流入防止訓練 土嚢などの設置

- (3) 職員の情報共有を円滑にして支援の質の向上に資する取組み  
法人施設内の各所に Wi-Fi を設置し次年度のインカム導入に備えた

## 2. 社会福祉充実計画の取組み

### (1) 富士清心園改築（創設）事業

令和4年度工事に向けて国庫協議等の事務手続き実施  
事業費 地質調査 660,000 円（建設仮勘定計上）

### (2) 法人本部事務所新築事業

設計 株式会社アルファ設計  
施工 井上建設株式会社

令和3年度竣工の計画は、資材の高騰などにより設計変更したため令和4年8月末竣工予定  
事業費 設計料・地質調査 4,209,000 円（建設仮勘定計上）

### (3) 社会福祉充実残額の活用はなかった

## 3. 人材育成と定着に向けた取組み

### (1) キャリアパス制度

- ① キャリアパス基準に基づき人事評価を実施した
- ② 参考評価基準を作成し理想の職員像を明確にした
- ③ 研修計画を作成 → オンライン研修の積極的な参加

### (2) 全職員の処遇向上への取組み

- ① 処遇改善加算Ⅰの取得
- ② 処遇改善臨時特例交付金の取得

### (3) 採用活動の推進

- ① 求職サイト、ホームページを活用し採用募集の訴求を図ったが厳しい状況であった
- ② 若者世代の採用訴求効果を高めるために Wi-Fi 環境を整備した

## 4. 地域から信頼される公益的な取組みと情報発信

### (1) ホームページを活用した情報発信

- (2) 苦情・相談の改善策や対応状況の公表による透明性の確保
- (3) 通所利用者の食材料費の軽減
- (4) 配慮を必要としている方のヘルプマークの普及

## 5. 職員の働きやすい職場環境の実現

### (1) 衛生委員会を中心とした取組み

- ① 職場におけるハラスメント防止
- ② 職員の労災防止活動
- ③ ストレスチェック、定期健康診断の二次検査の推進、特定業務従事者健診、インフルエンザ予防接種の実施

- (2) 令和4年度に向けて女性活躍推進法に基づき行動計画を策定  
女性が管理職として活躍でき男女ともに長く勤められる職場環境を目指す

(3) 新型コロナウイルス感染症への対応

- ① 産業医（フジヤマ病院 院長根本慎一郎氏）の協力によりワクチン接種実施
- ② 新型コロナ特別休暇の設置（期間限定）
- ③ 抗原検査キットの配布

6. 法人50周年記念事業の取組み

- (1) ① 50周年記念動画の作成
- ② 記念誌の作成
- (2) 法人本部事務所新築工事着工

7. 新型コロナウイルス感染症による行事等への影響

- (1) 創立記念祭                      施設をオンラインで繋ぎ利用者・職員のみで実施
- (2) おもいきり交流会            屋外で縮小して実施
- (3) 富士旭出ふれあい祭          中止
- (4) 子ども参観日                  中止    子供達との繋がりを継続する為シトラスリボンとあさひで  
雑巾配布
- (5) 旭出グループ関係事業       オンラインで実施
- (6) 実習生の受入れ                感染症対策をした上で可能な範囲で受入

8. 苦情解決委員会・第三者委員会・虐待防止委員会

令和3年7月29日	第1回苦情解決委員会
令和3年10月14日	第2回苦情解決委員会 第1回第三者委員会・第1回虐待防止委員会
令和3年12月23日	第3回苦情解決委員会
令和4年3月18日	第4回苦情解決委員会 第2回第三者委員会・第2回虐待防止委員会

9. 苦情・相談受付内容

受付日	申出人	内容	対応
令和3年12月6日	家族	利用者の帰省に関して規制はあるか教えてほしい。	コロナ禍で帰省自粛期間が長くなり県の状況をみながら10月20日より自粛緩和を決定した。コロナが収束に至っておらず、施設ごとに利用者の状況が異なることから、その対応も異なる旨をご家族に理解していただくよう説明させていただいた。

## 10. リスクマネジメント委員会・感染症対策委員会

令和3年7月5日	・富士厚生園利用者転倒事故について
令和3年8月18日	・新型コロナ 8/18 通知 8/20 から静岡県緊急事態宣言による対策について ・暴雨による土砂災害への備えについて ・Wi-Fi環境整備について
令和3年8月26日	・新型コロナウイルス感染症が発生した場合の対応フローと職員の対応について確認 ・事業継続計画について
令和3年8月30日	・新型コロナ 非常時の給食外注先について ・ワクチン接種の状況について
令和4年1月13日	・新型コロナ 静岡県知事の会見による状況共有と対応確認
令和4年2月1日	・新型コロナ 給食部職員新型コロナ陽性による給食業務の中止について
令和4年2月2日	・新型コロナ 給食部職員新型コロナ陽性による状況確認と対応について

## 11. 事故報告内容

内 容	富士厚生園	富士清心園	富士明成園	サポートセンター あさひで	サニーヒル
怪我（原因不明の受傷含む）	1	9	3	0	0
所在確認（施設内・施設外）	0	0	0	0	0
転倒・転落	28	10	13	0	0
興奮時の怪我	0	0	0	0	0
他害	1	8	4	0	0
破損	7	2	0	0	0
異食	0	0	0	0	0
誤薬・服薬ミス・服薬忘れ	2	6	2	0	0
所持品等の確認ミス	0	0	0	0	0
その他（職員・外部の不注意等含む）	2	0	1	0	0
職員車輛事故	1	2	1	0	1
行政へ報告した件数	4	0	2	0	0

## 12. 年間行事

	行 事 内 容	
4月1日	辞令交付式 職員全体会議	新任職員採用辞令（各部署主任以上と採用職員のみ） 令和3年度事業計画について
4月6日	お花見	感染予防しながら屋外でお花見弁当
4月7日	新任職員研修	新任職員 10名参加
4月17日	旭出グループ新任職員研修会	オンラインで開催 16名参加

4月	AED講習会	各施設で防災訓練時に実施
5月18日	天理教富士支部 環境整備	中止
5月29日	創立49周年記念式典	利用者・職員のみで縮小、オンライン利用して実施
6月	富士宮市福祉スポーツ大会	中止
6月～7月	安全運転講習会（3回）	各施設でビデオ鑑賞にて実施
7月7日・15日	利用者胸部レントゲン検査	
7月26日	夜間避難訓練	21:15 富士明成園出火想定
7月16日・19日・20日	利用者心電図	
7月29日	子ども参観日	中止 シトラスリボン・あさひで雑巾配布
8月2日	職員バス健診	蒲原病院健診車による定期健康診断
8月2日～8月27日	ストレスチェック期間	職員自身がストレス状況を検査項目に応じて検査
8月23日～27日	富士旭出作品展	富士宮市役所玄関ホールに作品展示
8月	小江戸大江戸トレニックワールド	富士山山麓一周フットレース 中継所として提供 中止
8月	岳南九州人会 環境整備	中止
9月	東部地域成人施設スポーツ交流会	中止
9月1日	総合防災訓練	震度6以上の地震発生を想定し情報伝達訓練、避難誘導訓練、消火訓練、放水訓練、非常食試食、生活基盤確保
10月26日	富士旭出ふれあい祭り	中止
11月1日	社会福祉施設防災の日	土砂災害を想定した訓練 利用者避難誘導、土砂流入防止出入口封鎖、オンライン情報伝達訓練、AED訓練、西富士開拓用水の経路と止水栓の確認
11月12日	おもいっきり交流会	感染状況を見ながら日程変更し距離を保って屋外で実施
12月14日～12月17日	愛護ギャラリー展	富士明成園作品 銀賞
1月	就労激励会	サポートセンターあさひで 中止
1月17日～21日	富士宮市福祉作品展	富士宮市役所玄関ホールに作品展示
2月	富士山本宮浅間大社節分慰問	中止

### 13. 合同委員会・合同会議

名 称	開 催 日	構 成 員
園長会	随時	理事長・施設長・事務長
運営協議会	月1回	理事長・施設長・事務長・課長
評価委員会	R4.2.16	理事長・施設長・事務長
衛生委員会	月1回 第4月曜日	産業医・衛生管理者・衛生委員
感染症対策委員会	随時	運営協議会・衛生管理者・看護師他
労務管理コンサルティング	月1回	社会保険労務士・事務長・施設長

予算会議	R3.10.27~10.29 R4.2.21~2.22 R4.2.24	統括会計責任者・会計責任者・出納職員
固定資産会議	R4.2.15	統括会計責任者・固定資産管理責任者 会計担当者・事務課長・主査・主任
創立記念祭実行委員会	随時	当番施設実行委員長・各部署実行委員
50周年記念誌編集委員会	随時	理事長・課長
ふじあさひで編集委員会	4月~5月 随時 7月1日発行	各部署により委員会を構成

14. 職員の状況 (R3.4.1~R4.3.31) ※ 嘱託職員は、定年後継続雇用となった職員

施設	勤務形態	採用職員	退職職員	職員合計	産休・育休 取得者	有給休暇 取得実績
富士厚生園	正規	3	6	30 (相談1)	2	62%
	嘱託	0	0	1	0	43%
	パート	0	1	6	0	79%
富士清心園	正規	3	0	21 (相談1)	0	58%
	嘱託	2	0	4	0	69%
	パート	1	1	2	0	48%
富士明成園	正規	1	5	33 (相談1)	3	53%
	嘱託	0	0	1	0	35%
	パート	0	0	2	0	56%
サポートセンター あさひで	正規	0	0	5	0	56%
	パート	0	0	0	0	0%
グループホーム サニーヒル	正規	0	0	1	0	65%
	パート	1	2	4	0	100%
相談支援事業所 ふじあさひで	正規	0	0	(兼務3)	0	62%
合計	正規	7	11	90 (兼務3)	5	58%
	嘱託	2	0	6	0	59%
	パート	2	4	14	0	77%
総合計		11	15	110	5	60%



## <第一種社会福祉事業>

### 障害者支援施設

#### (富士厚生園)

利用者が「安心して安全に生活できる」ようにサービスを提供した  
そのためには、職員一人一人が健康でなければならず、職員が心身ともに健康に対する意識の高揚を図れるように努めた

#### 1. 施設入所支援

##### (1) 勤務体制

早番1名(7:00~16:00)

遅番1名(12:00~21:00)

夜勤3名(15:00~24:00 準夜勤・0:00~9:00 深夜勤)

※ 夜勤3名体制で対応するが、利用者の疾病と高齢化が顕著となる利用者が多く、その対応に苦慮したため、8月10日より遅番を2名に増員し対応する

##### (2) 利用者与生活支援員の状況

###### ①利用者の状況

入所利用者 現員38名 定員40名

通所利用者 現員11名(契約者数) 定員20名

※ 利用者の定員を意識した経営に努めたが、定員の充足ができなかった

###### ア) 退所利用者

・入所利用者(70歳:男性) 気管支肺炎にて死去

・入所利用者(65歳:男性) 洞不全症候群で死去

###### イ) 新規入所利用者

・入所利用者(75歳:男性) 通所より入所へ切替

###### ウ) 入院状況(延べ人数)

・肺炎4名 ・大腿骨骨折2名 ・僧帽弁不全 1名 ・てんかん発作呼吸不全 1名

・白内障 2名

###### ②生活支援員の状況

利用者2名に対し生活支援員1名を配置した。(人員配置体制加算Ⅱの取得)

→生活支援員32名、看護師1名を配置

通所利用者11名(契約者数)に対しては、常時3名の職員を配置

※ 利用者の状況から本来であれば、生活支援員を増員したいが、近年、求人に対して応募がなくその対応に苦慮している

※ 年度末で退職職員が5名（定年退職を含む）おり、その補充が困難で法人全体で人員確保に協力いただく

## 2. 個別支援計画・面会について

利用者とその保護者との面談を下記のとおり実施した

### (1) 個別支援計画

- ・4～5月 新型コロナウイルス感染拡大により書面のみを郵送でやり取りした
- ・10～11月 県内利用者の保護者のみ時間短縮を図り実施

### (2) 面会

- ・新型コロナウイルス感染症対策として、外出外泊は基本的に自粛としたが、年末は陽性者数の減少がみられ通常に外泊を許可した
- ・利用者本人、保護者の希望により、電話やオンライン面会を実施

## 3. 健康管理と感染症予防

### (1) 個別支援計画に沿ったバイタルチェック（検温、血圧測定等）の実施

### (2) 少しの異常でも早期の通院（医療に繋げる）を実施

→誤嚥性肺炎と診断されるケースが増えている

### (3) フジヤマ病院の医師による往診開始

慢性疾患でフジヤマ病院にかかっていた利用者に対し、医師が往診していただけるようになり、通院が負担であった部分がかなり軽減された

### (4) インフルエンザ予防接種を令和3年10月28日に実施

### (5) 新型コロナウイルスワクチンの3回目の接種

### (6) 感染症（新型コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルス）対策（定期的な換気、手指消毒等）の徹底

※ 利用者とその保護者に対して外出・外泊は控えるよう協力依頼し、新型コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルスによる利用者の罹患はなかった

※ 発熱通院時には、インフルエンザ検査と抗原検査を実施し、陰性であることを確認してからの診察となった（発熱外来待機：フジヤマ病院）

※ 通所対応職員を月ごとに固定し、入所エリアに入る機会を減少させ外部から持ち込むリスクを軽減した

### (7) 行事の縮小と内容変更を行い、3密を避ける配慮を行った

### (8) 職員の感染症対策徹底

- ・職員には出勤退勤時の検温と寮内換気の徹底を図った
- ・3密を考慮し、外部研修を自粛し、オンライン研修、小集団での内部研修を実施
- ・県外移動、県外からの訪問等の自粛依頼
- ・新型コロナウイルス感染症が寮内に入ったことを想定した訓練の実施

### (9) 緊急時の応援協定

緊急時の食事を確保するため、株式会社大富士と災害時応援協定を締結

#### (10) 職員の感染状況

- ・令和4年1月31日 給食部職員がPCR検査陽性（家庭内感染）  
令和4年2月1日から7日まで、外注の弁当対応とし、給食部職員にPCR検査を実施、全員の陰性を確認した
- ・令和4年3月25日 生活支援員がPCR検査陽性（家庭内感染）  
入所・通所利用者全員に抗原検査を実施、全員陰性であり体調不良者もいなかった

#### 4. 職員の危機意識の高揚（健康・安全管理対策）

- (1) ほうれんそう（報告・連絡・相談）の徹底
- (2) 整理・整頓・清潔・清掃の習慣（しつけ）を身に着け、施設の環境美化に努めた
- (3) 生活習慣に留意し体調不良の場合は、早期に通院し健康管理に努めた
  - ※ 職員検診にて異常があれば、かかりつけ医等に必ず受診しその結果を上司に報告を徹底した。衛生委員、看護師を中心にして健康管理に対する意識を高めた
- (4) 職員とその家族から、体調不良の要因を施設に持ち込まないように徹底した
- (5) 衛生委員を推進役とし、朝の打ち合わせ終了後に「体操・ストレッチ」を取入れ、転倒腰痛予防対策を行った
- (6) ストレスチェックの実施とその結果を産業医に報告し、意見を求めた
- (7) 安全運転に心掛け、信号機のない交差点では、2段階停止をしての通過に努めた
- (8) 感染症対策として、職員の勤務場所の固定を今後も継続して検討

#### 5. サービス提供者としての資質向上

- (1) サービス提供者としての自覚（接遇する姿勢）を持つ
- (2) ゆとりある支援に努める
- (3) 内部研修の実践と外部研修への積極的な参加
  - ※ 新型コロナウイルス感染症の影響で中止となる研修も多く、オンライン研修への対応を行う
- (4) 職員一人ひとりが事業所（施設）に愛着を持てるよう「帰属意識」を養う

### (富士清心園)

#### 1. 施設入所支援

- (1) 勤務体制
  - ・夜勤職員2名体制を継続
  - ・生活介護（人員配置体制加算Ⅲの取得）  
利用者の高齢化、重度化に対応するため、利用者2.5人に対し職員を1人配置し、緊急時にも速やかに対応できる体制を継続した
- (2) 日中活動の取組み
  - ① 寮外活動グループ

- ・農園芸活動を通じ、作る喜び、食べる喜びを利用者に体験させることができた
- ・よもぎ活動については静岡県畜産技術研究所の敷地にて3回収穫を行い、よもぎ入浴剤として朝霧高原道の駅にて販売し、その収益で種苗・利用者おやつを購入した
- ・環境整備として、寮内外の草刈りや植込みの剪定を行った
- ・コロナ禍においても、日中活動の充実化を図るべく、小グループで作業棟に移動できるように調整した

## ②寮内活動グループ

- ・通所・高齢者・屋外活動が困難な利用者を対象に、体力・健康・身体機能維持活動を行った
- ・個々に合った課題を設定し活動を展開できた
- ・新型コロナウイルス感染症予防のため、入所と通所のエリア分けを行うことで、活動範囲が限定されたが、その中でも工夫して個別の日課に沿った活動を行った
- ・今後も新型コロナウイルス感染症予防のため、行事の中止、日中活動の制限が余儀なくされることが予想されるが、生活が単調にならないよう少しでも変化を持たせた生活様式の検討を行う

## (3) 文化活動

### ①茶道（年4回 講師：芹沢千代子氏、塩谷順子氏、江波戸芳子氏）

- ・外部講師を招き、参加利用者の状況に合わせた活動内容とし、感染症対策のため回数を減らし実施
- ・利用者が楽しみにしているため、寮内にて講師なしで3回実施

### ②陶芸（年7回 講師：小割祥嗣氏）

- ・三園合同の活動に4名参加
- ・完成した共同作品は愛護ギャラリー展で発表した

### ③書道（年10回）

- ・実施月によりテーマを提示し、利用者の感性にて自由に表現した
- ・作品は支援員が工夫してデコレートし廊下に展示したり、作品展にて発表した

### ④音楽（毎月）

- ・「今月の歌」を利用者と一緒に決め、練習し、クリスマス会や納会で練習の成果を発表した
- ・発表することを参加利用者も楽しみにしている

### ⑤絵画、貼り絵（貼り絵、絵画、工芸、手芸）

- ・愛護ギャラリー展や富士宮市福祉作品展での発表を目指して取組んだ

## (4) 余暇活動

### ①DVD鑑賞会

- ・プロジェクターや2階談話室のテレビを活用し実施。寄付のあったDVDの中から、利用者が興味のある映画やアニメを上映した

### ②カラオケ

- ・歌うことが好きな利用者を対象に実施し、外出しなくても利用者が寮内で楽しめるも

のとして取入れ、利用者の楽しみとなっている

### ③希望外出

- ・感染症対策を行いながら、コンビニでおやつを購入し、公園でゆっくりと過ごす外出を実施

## 2. 健康管理

### (1) 感染症対策

- ・新型コロナウイルスワクチン接種を3回行った
- ・定時の換気、消毒、マスクやフェイスシールドの着用など、感染症対策を徹底した
- ・通所利用者と入所利用者が混在しないよう、可能な限り生活空間を分離した
- ・新型コロナウイルス感染症が発生したことを想定し、対応訓練を行った
- ・外出、外泊を自粛していただき、希望があればリモート面会を実施
- ・令和3年10月にインフルエンザ予防接種を実施

### (2) 日常の健康管理

- ・早期発見、早期通院を心掛けるよう、毎日の健康チェックを継続

## 3. サービスの質の向上

### (1) 個別支援計画作成、モニタリング、個別面談を通して支援内容の共有、改善を行った

- ・前期面談は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の時期だったため、書類を郵送し対応した
- ・後期面談は、県内出身の利用者に限り、時間を短縮し実施（県外の利用者については前期同様、郵送にて対応）

### (2) 生活支援員の専門知識や支援技術の向上を図るため、内部・外部を問わず各種研修への参加を積極的に実施（オンライン研修の機会が増えた）

### (3) 送迎専門職員の雇用を継続し、通所利用者の安全な送迎を確保した

## 4. 施設整備

### (1) 株式会社アルファ設計、建設委員会において創設工事に向けた取組みを行った

## 5. 業務委託

### (1) シダックスフードサービス株式会社と食事サービスの業務委託契約を継続

### (2) 情報の共有を行い、急な食事変更にも対応し質の高い食事提供に努めた

## (富士明成園)

### 1. 施設入所支援

#### (1) 勤務体制

##### ①施設入所支援

- ・早番職員2名、遅番職員2名、夜勤職員3名体制を継続
- ・職員間で連携し、困った際には勤務者間で情報を共有し利用者支援を行った
- ・発熱者が出た場合、北棟と南棟、南女子棟の行き来を制限し、感染症対策に努めた
- ・利用者の救急搬送が5件あり、早期対応に心掛け、緊急時の対応を周知した
- ・利用者の通院については、フジヤマ病院根本院長による往診が可能となり、直接病院まで引率する件数の減少につながった
- ・車いす利用者や行動障害等の利用者対応については、マンツーマンでの通院支援が必要
- ・入所利用者現員44名 定員50名
- ・致死性不整脈で亡くなった利用者1名、硬膜下血腫にて入院後施設に戻ることが困難と判断された利用者が1名退所し、新たに1名が入所利用となった
- ・特別支援学校と連携し、高等部卒業後、施設入所希望者について、日中一時支援及び短期入所を経て4月入所予定
- ・入所定員の1割が欠員であることから、令和4年度は定員を満たしたい

##### ②生活介護 人員配置体制加算Ⅱを取得

- ・利用者2名に対し生活支援員1名を配置しているが、年度途中で退職職員もあり、サービスの質の向上を図るため、職員確保が必要な状況

#### (2) 日中活動

##### ①療育グループ

- ・重複障害・強度行動障害の利用者への体力づくり・個別活動により、利用者が落ち着いて取り組めるメニューを提供
- ・最低限の職員配置(2名)でも継続的な活動ができるよう工夫し、利用者の個別課題の見直しを行った
- ・午後に屋外歩行の時間を設け、療育グループ以外の利用者も含め行う

##### ②生き生きグループ

- ・身体麻痺のある利用者へのリハビリ支援(フジヤマ病院リハビリ科への定期評価通院と個別メニューでの支援)高齢者中心に楽しめる体操、個別活動を実施
- ・午前中にリハビリメニューが消化できない場合、午後の活動で対応した
- ・感染症対策で活動ができない場合、南棟談話コーナーにて、ラジオ体操、生き生き体操を実施した

##### ③自活グループ

- ・自立生活が困難な利用者にはビーズ、パズルなどの個別課題、寮内での歩行や体操、口腔体操を実施

- ・創作活動でだんご絵（カラフル）、シール画（花火）を作成した
- ・天候に応じて屋外歩行や外気浴を実施

### （3）その他の活動

#### ①陶芸活動（毎月第三木曜日 講師：小割祥嗣氏）

- ・利用者9名が参加し、土に触れる楽しさと作品を仕上げる喜びを体感した
- ・愛護ギャラリー展に共同作品としてお地蔵様をモチーフに「みんなの願い」を出展
- ・感染症対策のため、令和3年度は7回の実施

#### ②音感療法（毎週火曜日 講師：梶田真弓氏）

- ・利用者20名が参加し、音感療法の考えを基に問題となっている行動の軽減等利用者それぞれの目的を明確にして実施
- ・コミュニケーションが難しい利用者の音楽的感受性を養った
- ・みんなで歌おう会（月1回）には20～30名参加
- ・毎年3月に行われる音感発表会は新型コロナウイルス感染症対策のため外部講師が参加できず納会の中で活動報告を行う
- ・今後、講師不在でも対応できるよう内容の検討を行う

#### ③園芸活動

- ・利用者11名が参加し、プランターを利用して、季節の花の寄せ植えを行った
- ・利用者同士が楽しく参加できる雰囲気作りに心掛けた

## 2. 健康管理

（1）不調の訴えのできない利用者が多くいるため、バイタルチェック（検温、血圧測定等）を行い、普段と違う状況に気づいた場合は、医療機関への早期受診を行った

### （2）感染症対策

- ・インフルエンザ予防接種を令和3年10月21日に実施
- ・今年度、利用者にインフルエンザ罹患者はいなかった
- ・新型コロナウイルス対策について、ワクチン接種を6月7日から9月22日の期間、3週間間隔で2回接種（フジヤマ病院にて）、3回目接種を2月24日から3月24日の間に4回（学園にて）行った
- ・職員には基本的感染症対策を周知し、利用者との近い距離での支援（食事介助、歯磨き等）ではフェイスシールドを使用、出退勤時の検温を継続した
- ・施設内の換気消毒に努め、飛沫防止パネルを面会場所や会議室に設置し、感染症発症を想定して寮内でのゾーニングシミュレーションを行った
- ・感染症用の備品が不足しないよう確保に努めた

## 3. サービスの質の向上

### （1）虐待防止への取組み

- ・権利擁護マニュアルを朝の打合せ時に唱和し、権利擁護に対する意識付けを行った
- ・支援員の資質向上を目的とし、強度行動障害を伴う利用者に対しての支援内容の見直し

を行った

(2) 職員の資質向上委員会における自己評価を実施

- ・年2回（前・後期）業務内容チェック表を配布し、アンケートを実施
- ・職員間での引継ぎ、情報共有を速やかに行えるように、サイボウズ上に「職員掲示板」を設け、職員間の情報交換の活性化を図った

(3) 内部研修の実施

- ・救急対応模擬訓練（AED 含む）を実施（令和3年6月24日）
- ・リスクマネジメント研修「福祉施設・事業者におけるリスクマネジメントの基本的な考え方」を管理者・サービス管理責任者・生活支援員を対象に動画視聴にて実施（令和3年12月8日～24日）
- ・静岡県介護福祉士会主催介護技術出前講座「認知症ケア」（令和4年1月27日）、「排泄ケア」（令和4年2月18日）をオンラインで実施
- ・「支援情報シート」を作成し、利用者の情報を「動作面」「情緒面」と分類し、支援する上で留意する点を簡潔に引継げるようにした

(4) 生活向上委員会による寮内清掃・環境整備（ワックスがけ・網戸張替等）や消毒の実施

(5) 利用者・保護者満足委員会において、行事ごとに利用者アンケートを実施し、意見や感想を確認、今後、意見や感想を行事に反映できるよう努める

#### 4. 施設整備

(1) 新型コロナウイルス対策に必要な物品として、非接触型体温計を購入、出退勤時の検温や来訪者への速やかな対応に繋がっている

(2) 環境改善としてエアコン、利用者談話コーナー及び職員室の照明をLEDに交換、厨房休憩室の改修を行った

(3) 寮内鍵シリンダー及び暖房等循環ポンプ交換、スプリンクラー設備の修繕を実施

(4) 必要な介護用品を購入し、利用者の生活の拡充を図った



## <第二種社会福祉事業>

### 障害福祉サービス事業

(サポートセンターあさひで)

利用者の「働きたい」という願いを一人ひとりに焦点を当てて、体験や経験の機会を提供する中で関連機関との連携を図り、安定した就労（一般就労・福祉的就労）の実現に取り組んだ。

#### 1. 就労移行支援 定員6名

##### (1) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	115	117	129	118	113	123	107	85	89	71	71	69

・利用延べ人数 1,207名

・収入額 合計 10,598,731円

##### (2) 利用者の適性に合わせた個別支援計画の作成

- ・利用者の基本的な適性を図るために事業所内で下請け作業を行い、出勤状況、適性や課題の把握等基礎的な訓練を実施したうえで、企業見学・職場実習を実施
- ・一般就労の実現

##### (3) フォローアップの強化

- ・仕事が終了した後や休日に、日中一時支援の利用を可能とし、本人の状況把握や相談等を実施

#### 2. 就労継続支援B型 定員14名

##### (1) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	354	351	352	354	343	332	351	325	350	330	299	358

・利用延べ人数 4,099名

・収入額 合計 25,834,421円

##### (2) 安定した生産活動の機会を提供するため、施設外就労と下請作業の支援を実施

###### ①施設外就労

- ・法人の清掃（プール清掃・エアコン清掃、外トイレ清掃等）の受注を受け対応している
- ・今年度よりサンファーム富士山より、アメーラトマト栽培用ビニールハウスの片付

け作業を開始、羅松園にて盆栽の苔・雑草取りを実施

- ・富士宮市企画課より委託された、軍人墓地清掃を年2回実施したが、作業状況と利用者の体調面を考慮し、今年度をもって終了した

#### ②下請作業

- ・今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあまり受けることもなく、年間を通じて作業が確保できた
- ・新規作業として、令和4年2月よりカナエ工業内にある企画開発部門のミプラスよりメダカ産卵用キット作成作業を開始した
- ・富士パックとエフビー産業の作業については、単価も含め作業効率面を検討し、今年度をもって取引終了とした

#### ③自主生産

- ・蜜蝋ロウソクの販売について、加藤美蜂園が東京浅草に出店し販売する運びとなっていたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、現在注文が入らない状況であるが、希望者に販売を行っている
- ・雑巾の作成については、給食部からの注文（無地雑巾）が定期的に入る一方、タグに絵を描く工夫をし「こころびかびかタオル雑巾」を販売、1,200枚作成し完売した
- ・古紙及びアルミ缶回収については、法人敷地内に回収ボックスを設置し、定期回収場所の拡充を継続、企業からの古紙回収量も安定している
- ・富士宮市古紙等リサイクル活動団体に登録し、奨励金の申請を行い、交付を受けている

(3) 令和3年度 平均工賃額 12,823円（前年度 14,417円）

- ・昨年度と比較して就労移行利用者への工賃の分配が増えたこと、必要経費の高騰も平均工賃額に影響している

### 3. 就労状況

サービス区分	就職先及び採用日
就労移行支援	コバック（車検整備終了車の洗車） 採用日：令和3年10月30日
	テルモ愛鷹工場（清掃） 採用日：令和4年1月5日

### 4. 内職（施設外就労含む）取引先

サービス区分	企業名	作業内容
下請作業	富士大洋株式会社	段ボール折、ビニールカット
	富士宮通運株式会社	化粧品箱折り

	サヌキ印刷株式会社 静岡支店 富士工場	箱折り（菓子、蒲鉾等）各種
	富士宮ターポリン工業所	緩衝材（紙）の折りと結束
	有限会社エフビー産業	エアコン部品
	富士パック株式会社	紙袋紐付け
	株式会社フジマクロ	古紙・アルミ缶回収
	コアレックス信栄株式会社	古紙（古紙回収ボックス）
	ライフサポートいずみ	車部品
	アイパックスイケタニ株式会社 西富士営業所	菓子箱折り
	アイパックスイケタニ株式会社 山宮営業所	車部品の緩衝材・古紙回収
	株式会社ミプラス	メダカ産卵用キット
	富士宮市役所 （選挙管理委員会・健康増進課）	ポケットティッシュ各種 シトラスリボンキット作成
	社会福祉法人富士旭学園	茶パック、牛乳・ヨーグルト配達
施設外就労	社会福祉法人富士旭学園	各種清掃業務
その他	コカ・コーラボトラーズジャパン 株式会社（セントラル）	法人内自販機
	東海ビバレッジ	法人内自販機
	社会福祉法人富士旭学園	法人行事粗品等準備

## 5. 関係機関との連携

ハローワーク・関係機関・企業等との連携に努め、特別支援学校や特別支援学級からの実習生を積極的に受入れ、卒業後の進路先としても受入れを行った

## 6. 地域との関わり

事業所を地域福祉資源としてとらえ、利用方法等について検討し、事業所についての説明会は随時対応し、事業所を理解してもらうように努めた

## 7. 防犯体制・防火体制の確立

- ①総合警備保障(株)による防犯体制
- ②プロパンガス発電機の購入後、定期的に点検を行う

## 8. 個々の利用者のニーズに対応できる支援

### (1) 文化活動（絵画・創作等）

愛護ギャラリー展、富士宮市福祉作品展、富士旭学園作品展等へ出展

### (2) 健康管理

- ①感染症予防マニュアルに則った、手洗い・うがいの習慣を励行
- ②在宅要介護者歯科保健支援プログラム  
富士宮市保健センターにて年2回実施
- ③希望者へのインフルエンザ予防接種を実施

## (共同生活援助事業所 サニーヒル)

### 1. 利用者の状況

- (1) あわくらホーム 定員：男性6名 現員：5名
  - ・一般就労3名 福祉的就労2名
- (2) 三園平ホーム 定員：女性5名 現員：4名
  - ・一般就労2名 福祉的就労2名

### 2. 支援の状況

#### (1) 生活支援員の配置

- ・生活支援員を配置することにより、日々利用者や世話人と対面することができ、問題の早期発見、早期解決ができた
- ・生活支援員の勤務体制に、当直・早番・遅番を取入れることにより、夜間の利用者の状況を把握し、個別支援計画に反映することができた
- ・通院、食事注文、小遣い管理、帰省把握、相談事業所との連絡の業務を、生活支援員が担うことにより、急遽の変更に対応し迅速に対応を行うことができた

#### (2) あわくらホーム

- ・世話人 2名
- ・勤務時間 6：30～9：30、16：00～19：00（1日の支援時間：6時間）
- ・令和4年3月より、利用者1名が施設入所となったため、補充に努める

#### (3) 三園平ホーム

- ・世話人 2名
- ・勤務時間 6：30～9：30、16：00～19：00（1日の支援時間：6時間）
- ・定員を満たすため、1名の体験利用を行うが契約に至らず、利用者の充足に努める
- ・利用者居室のエアコン入替工事を実施

#### (4) 利用者の健康への配慮

- ・朝、夕の食材を業務委託し、栄養管理、食事量の配慮を業者と調整しながら行い、食費に見合う食事内容を検討
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、外出・外泊の自粛を行い、行動範囲の制限など、利用者の協力を得ながら実施
- ・健康チェック（血圧・体温測定）、服薬支援を行い、利用者の健康管理に努めた

(5) その他

- ・各ホームで非常食の補充
- ・緊急時への備えとして、法人・施設の連絡先を各ホームへ掲示
- ・災害時及び緊急時に備え、総合警備保障(株)と契約
- ・各地域の防災訓練に参加（新型コロナウイルス感染症の影響で中止）
- ・成年後見制度利用開始手続きのバックアップ

(6) 利用者の交流

- ・新型コロナウイルス感染症への配慮から、利用者交流事業（日帰り旅行）は中止

## (障害者短期入所事業)

居宅においてその介護を行う者の疾病、その他の理由により短期間入所を必要とする障害者に対し入浴、排泄、食事等の介護や日常生活上の支援を実施した。

### 1. 富士厚生園 定員5名

① 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	12	10	7	11	7	12	9	16	13	10	7	23

② 利用のべ人数 合計 137名 (昨年度201名)

③ 収入額 市町 合計 1,110,036円 利用者 合計 95,336円

### 2. 富士清心園 定員3名

① 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	16	11	12	16	14	13	27	24	28	14	11	28

② 利用のべ人数 合計 214名 (昨年度247名)

③ 収入額 市町 合計 1,594,631円 利用者 合計 144,442円

### 3. 富士明成園 定員6名

① 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	36	11	3	6	7	14	9	4	14	20	18	22

② 利用のべ人数 合計 164名 (昨年度189名)

③ 収入額 市町 合計 1,649,549円 利用者 合計 130,712円

## 指定計画相談支援事業

(指定特定相談事業所 ふじあさひで)

### 1. サービス利用支援

(1) 障害福祉サービスの申請に係る障害者の心身の状況、環境、サービス利用に関する意向その他の事情を勘案し、利用する障害福祉サービスの種類及び内容を記載した「サービス等利用計画(案)」を作成→支給決定後に、支給決定に係るサービスの種類及び内容、担当者等を記載した「サービス等利用計画」を作成

### (2) 計画作成実績

提供年月	支給市町村及び件数	計
令和3年 4月	葉山町 1件 渋谷区 1件	2
5月	富士宮市 1件	1
6月	富士宮市 1件 沼津市 1件	2
7月	富士宮市 5件	5
8月	富士宮市 2件	2
10月	富士宮市 2件	2
11月	富士市 2件	2
12月	富士宮市 2件 小山町 1件	3
令和4年 1月	都城市 1件	1
3月	沼津市 1件	1

提供件数合計 21件

### 2. 継続サービス利用支援

(1) 支給決定の有効期間内において、当該者に係るサービス等利用計画が適当であるかどうか、指定された期間ごとに、「サービス等利用計画」の評価(モニタリング)を行った。

### (2) モニタリング実績

提供年月	支給市町村及び件数	計
令和3年 4月	富士宮市 1件 富士市 4件 静岡市 8件	13
5月	富士宮市 2件 沼津市 5件 鎌倉市 1件 小田原市 1件 板橋区 2件 寒川町 1件	12
6月	富士宮市 53件 伊東市 2件 伊豆市 2件 小山町 1件	58
7月	富士宮市 3件 世田谷区 1件 都城市 1件	3
8月	三島市 1件 焼津市 1件 杉並区 1件	3
9月	富士宮市 2件 富士市 12件 牧之原市 1件 港区 1件 富士河口湖町 1件 品川区 1件 練馬区 2件	20

10月	富士市 2件 静岡市 8件 葉山町 1件 渋谷区 1件	12
11月	富士宮市 2件 沼津市 6件 鎌倉市 1件 寒川町 1件 小田原市 1件 板橋区 2件	13
12月	富士宮市 61件 伊東市 2件 伊豆市 2件	65
令和4年 1月	富士宮市 1件 世田谷区 1件	2
2月	三島市 1件 焼津市 1件 杉並区 1件	3
3月	富士宮市 2件 富士市 12件 牧之原市 1件 港区 1件 富士河口湖町 1件 品川区 1件 練馬区 2件	20

提供件数合計 224件

## <公益事業>

### 地域生活支援事業

#### (日中一時支援事業)

日中における活動の場を確保し障害児(者)の家族の就労支援並びに一時的な休息を目的として支援を実施した。

#### 1. 富士厚生園 定員3名

##### ① 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	20	23	19	21	21	19	21	22	22	22	17	24

② 利用のべ人数 合計 251名

③ 収入額 市町 合計 936,000円 利用者 合計 5,400円

#### 2. 富士清心園 定員3名

##### ① 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	33	30	38	34	27	38	37	33	35	32	32	36

② 利用のべ人数 合計 405名

③ 収入額 市町 合計 1,522,800円 利用者 合計 122,580円

3. 富士明成園 定員6名

① 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	6	10	6	7	7	0	2	1	8	7	2	10

② 利用のべ人数 合計 66名

③ 収入額 市町 合計 450,000円 利用者 合計 36,180円

4. サポートセンターあさひで 定員5名

① 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ 利用	28	23	23	22	25	19	20	20	17	18	20	22

② 利用のべ人数 合計 257名

③ 収入額 市町 合計 592,800円 利用者 合計 0円



## 令和3年度 事業報告附属明細書

事業報告の内容に補足する重要な事項がないため、事業報告附属明細書への記載はありません。